

～けわしい山にかこまれた むかしむかしのおはなし～
いつもお腹をすかせている三びきのやぎのからがらどん。食べ物
求めて遠くの山へ。しかしその手前の橋には、大きな魔ものトロルが住
んでいる…。

日本中の子どもたちに今もなお愛され続けている絵本の世界を、プ
ークの人形たちがファンタジーあふれる迫力ある舞台上で繰り広げます。

北欧民話より

三びきのやぎのからがらどん

脚色／中江隆介 潤色・演出プラン／安尾芳明
演出／野田史図希 美術／若林由美子 音楽／堀井勝美
照明／若井道代 振付／丸山はるか

光と闇の織りなす民話的世界 演出プラン 安尾芳明

闇を恐れる子どもたちが増えてきています。それはきっと文明社会が子どもたちから闇を追い出してきたからだと思います。闇とは怖
れです。自然への畏怖だと思うのです。「光のある喜びは、闇の怖れを乗り越えたところにあるのでは—。」

この劇は、闇の世界と光の世界とで織りなされています。ヤギたちは、闇の怖れにたじろぎはしますが、知恵と勇気でもって願いを達成
します。そこから、光の時を迎えるのです。そしてこの劇は、北欧的世界の「6月の祝祭」からはじまります。広場に白樺の木を立て踊るの
です。「三匹のからがらどん」の民話は、そんな喜びの祝祭の中から生まれたのだと思います。

民話には野生がうごめいていると思います。子どもたちが、闇の怖れの中でも、ユーモアとやさしさを失わずに、いつものびやかに生き
ていって欲しいと願っています。

ぼちぼちいこか

原作／マイク＝セイラー 訳／いまえ よしとも 絵／ロバート＝グロスマン(偕成社刊)

失敗したら、やりなおそ 演出 井上幸子

早くわかること、早くできることは、そんなに大切なことでしょうか。

スピードアップされた暮らしの中で、子どもたちは、いつでも立ち止まり、考え、感
じることが必要です。子どもの時間を、子ども自身がたづなりと、夢中で使うことが必要
です。失敗にめげず、やりなおすエネルギーは、そんな中から培われるもののような
気がします。心のシャワーを浴びて、大いに笑ってください。

脚色／生田麻理子 演出／井上幸子 人形美術／川口 新 装置／鈴木英夫
音楽／マリオンネット(湯浅隆・吉田剛士) 照明／阿部千賀子 効果／吉川安志



軽快なポルトガルギターと
マンドリンの音楽にのせて、
重量級カバ君のコミカルな奮戦記。